

平成 30 年度

居宅介護事業所

ドロップ

(居宅介護・移動支援・行動援護)

事業報告

1. 方針

利用者の個別のニーズに応え、地域での生活がより豊かなものになる様、支援を行う。

2. 目標と支援内容

① 在宅の利用者の余暇支援を充実させる。

ア 利用者の希望を基に、ご家族と相談をしながら、移動支援を実施する。
→利用者からの利用希望に沿って、毎月移動支援の予定を立てて支援にあたった。担当職員と外出時の内容などの引継ぎを行い、楽しく安全に外出できるよう努めた。

イ ドロップ企画の余暇外出を実施し、余暇の幅を広げ、また、利用者同士の交流を図る。

大人数でのバスハイクや旅行以外にも、利用者が様々な体験を出来る様、少人数での外出や旅行なども実施する。バスハイクや旅行については、車椅子の利用者が参加し易い方法も考えてゆきたい。

また、恒例の夏の甲子園旅行については、参加利用者の重度高齢化により、暑さによる体力的な負担が大きくなった為、今年度より春の甲子園旅行に変更する。余暇外出の予定は以下の通り。

→車椅子利用者の参加が年々増加している。(初めから車椅子だった利用者に加え、病気や加齢によって車椅子を利用する様になった利用者が出てきた。) 事や高齢重度化によって、余暇支援のスタイルも、少しずつ変化してきている。大きなところでは、移動手段（リフト車の利用）と行程（シンプル化）、ヘルパー数（必要人数増加）があげられる。

今後も現状に合わせて、柔軟に対応したい。

5月 木更津 龍宮城ホテル三日月

→参加人数・職員・ヘルパー合わせ 67名。

利用者の参加人数が多かったこともあり、入浴時などの安全面に苦慮した。

9月 バスハイク（山梨ブドウ狩りとBBQ）

→参加人数・職員・ヘルパー合わせ 57名。

渋滞の為、当初の予定より時間がかかりトイレなどに苦慮した。

ブドウ園では柵も低く車いすでもブドウ狩りが楽しめた。

12～1月 正月旅行（2泊3日）

→参加人数・職員・ヘルパー合わせ 75名。

例年より参加者が多く、介助が必要な利用者も多く参加しており

苦慮した。

ウ 手芸クラブ（月 1 回）、個人の手芸教室を開催する。

～手芸クラブ

利用者の希望を聞き、季節の行事なども意識しながら、偏りがないよう色々な手法でのプログラムを提供する。また、さくらほりきりの手作り作品展に出展し、鑑賞外出を行う。（10 月）

→参加者 4 名、月 1 回実施した。

～手芸教室

個人の手芸教室を行い、その人に合った「もの作りの楽しさ」が味わえるようなプログラムを提供する。また、さくらほりきりの手作り作品展に出展し、鑑賞外出を行う。（5 月）

→月 1 回 3 グループに分かれて行った。

エ 料理教室を開催する。

GH の利用者を対象とした少人数の料理教室を開催する。（年 4 回）

→年 3 回（7 月、11 月、2 月）実施した。

ウィメンズパルの調理室を利用して行った。

ヘルシーで、電子レンジを利用した料理を行っている。

② 在宅の利用者及び高齢利用者のニーズに合わせた支援を拡充する。

余暇支援のみならず、通学通所通院同行、入浴介助、家事援助、見守りなど、在宅ならではのニーズに応じてゆく。

また高齢利用者特有のニーズにも柔軟に対応する。

→休日や日中活動がない平日の余暇支援、通院、通所後または放課後の余暇支援、在宅での見守り・入浴支援、ショートステイ先への送りなど、在宅利用者の多様な希望に応じて支援を行った。

③ ヘルパーの質の向上

ア 必要な研修に参加し、援助技術を向上させる。特に、全身性障害者ガイドヘルパー研修をドロップの職員は今年度中に全員受講する。

→介護初任者研修に 1 名、行動援護後従事者養成研修に 1 名が行っている。

イ 支援報告書などから課題を見つけ、ヘルパー間の情報交換を密にするなどして解決方法を探り、次の支援に確実に活かしてゆく意識を持つ。

ウ ファイルマネージャーを活用し、支援報告書を誰でも閲覧し易くする事で GH 職員と情報を共有し支援に活かせるようにする。

- エ 引継ぎミスを防ぐ為、引継ぎは基本、書面かメールで行う様にする。
 - オ 居宅介護、行動援護の利用者については、定期的にモニタリングを行い、支援計画を作成する。
- イ～オ、いずれも行うことが出来た。

3. 会議の開催

ドロップ会議を月1回開催する。また、その他にヘルパーミーティングも適宜行う。

→月1回の会議を開催した。ヘルパーミーティングは行う必要がなく、実施しなかった。

4. 各担当

①ドロップ内担当 ヘルパー手配など（鶴岡）／余暇企画（浅野・加藤）／手芸、料理教室（小河）／記録整理（高橋）／事務（宮地）

5. 研修

行動援護後従事者養成研修（随時）

介護職員初任者研修

相談援助実習・実習指導者講習会